

令和2年度のアサリ放流が終了しました。

11月18日に多摩川河口の耕耘調査区域に8tのアサリを放流しました。これで令和2年度のアサリ放流量は合計51.2tになりました。内訳は下表のとおりで、東京湾奥の浅場3か所が主な放流場所です。

アサリの棲み場を改善するために行う海底耕耘もこの3か所で行っており、今年は11月末時点ですでに延べ169haを耕耘し、年度末までには合計235haを耕耘する予定となっています。

こうした放流や海底耕耘の継続がアサリだけでなく、東京湾の浅場に生息する種々の生物の棲み場環境の改善と海水の浄化に役立っています。なお、当協会が30年間以上にわたって行っているアサリやハマグリ、カサゴなどの放流記録は協会発行の「令和元年度葛西沖魚介類生息環境調査報告書」に掲載しています。

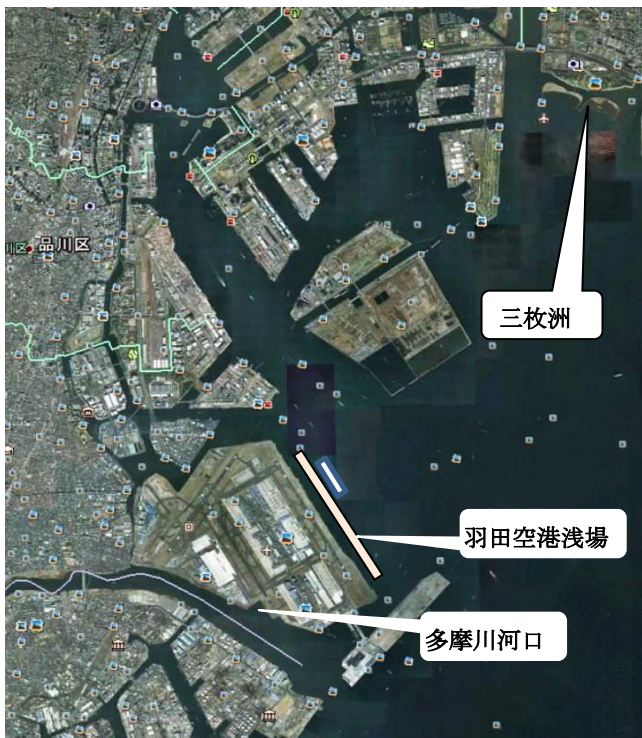


図 放流及び海底耕耘の場所



10月21日三枚洲で放流したアサリ

令和2年度 アサリ放流実績（トン）

放流場所 \ 月	4月	5月	6月	10月	11月	計
三枚洲	8	10		10		28
羽田浅場			7.2			7.2
多摩川河口				8	8	16
計	8	10	7.2	18	8	51.2